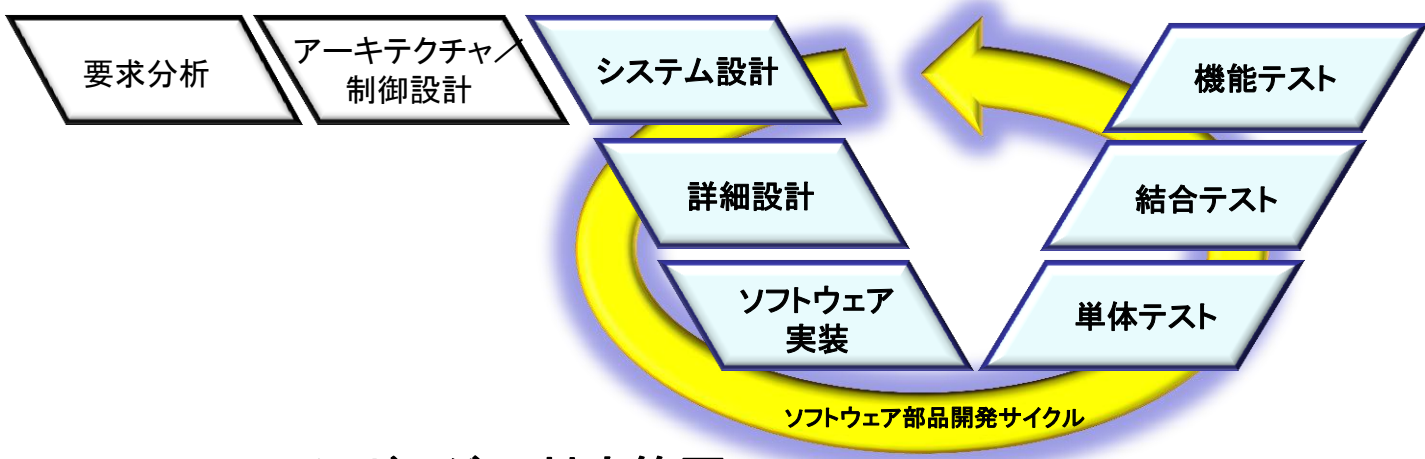


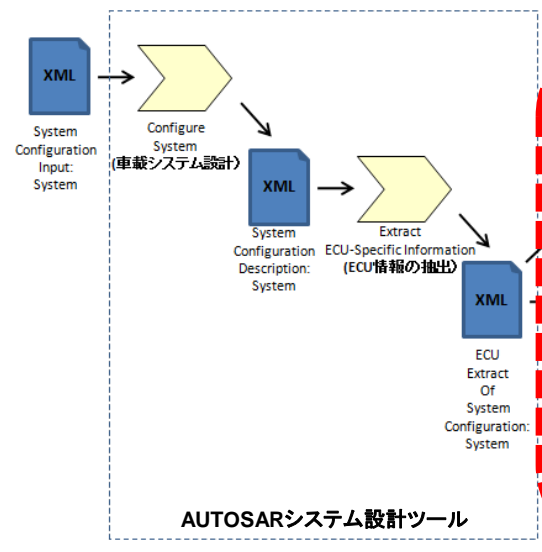


AUTOSARシステムの開発／設計検証を支援

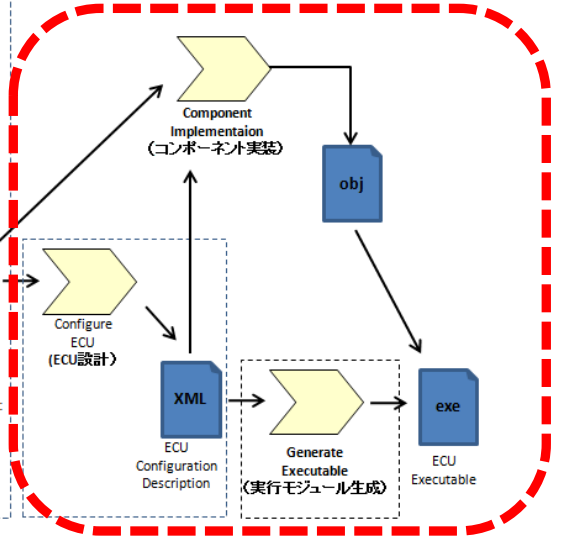
■ソフトウェア部品の開発サイクル実施を効率化



■AUTOSARメソドロジの対応範囲



VFBSのサポート範囲

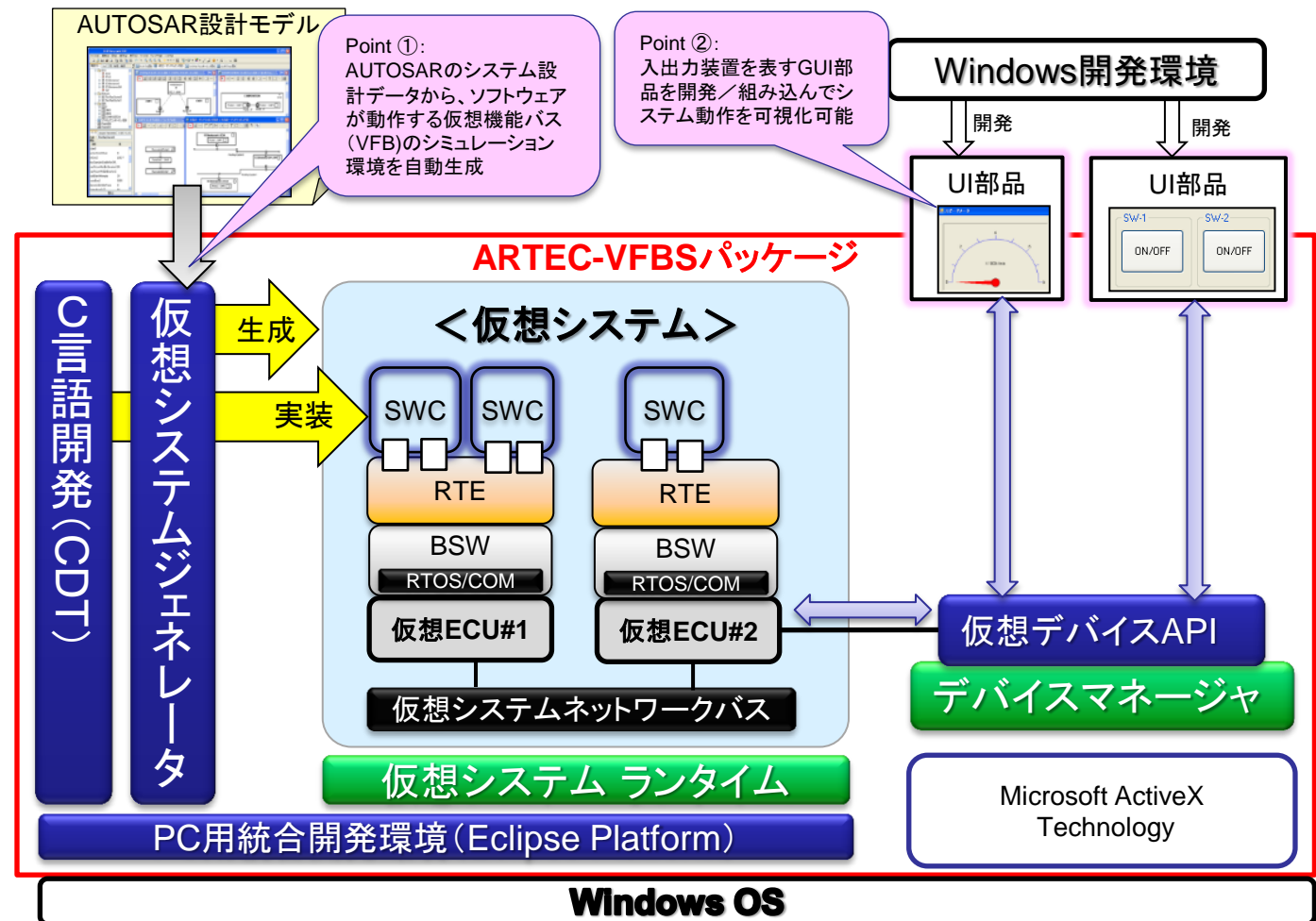


■VFBSの特長

- AUTOSARメソドロジのシステム設計以降を1パッケージでサポート**
 - システム設計データ から、複数ECUで構成されるトポロジ、および各ECUのソフトウェア部品実行環境を含むシミュレーション環境を自動生成
 - 自動ECUコンフィグレーション機能により、複雑な設定は不要で環境構築可能
 - C言語の統合開発環境をバンドル。ソフトウェア部品を実装し、シームレスにシミュレーション実行して動作確認が可能
- シミュレーションによりシステム動作を可視化**
 - ソフトウェア部品の動作タイミングや回数などのメトリクスを可視化
 - 設計の妥当性を確認可能
 - GUI部品を利用して、システム機能を可視化して確認可能



ARTEC-VFBSパッケージ提供機能



特徴1: 仮想システム環境を自動構築

- 各ECUのコンフィグレーション不要。システム設計からECUとネットワークを自動生成
- 仮想システム環境上で、ソフトウェア部品 (SWC) の開発/デバッグが可能

特徴2: システムの動作を可視化

- AUTOSAR VFBレベルの動作モニタリングをサポート
- ECUに接続した装置等を表すUI部品を用いて、SWC/システム全体の動作を確認可能

ARTEC-CDK適用例

・AUTOSAR開発手法の教育

システム設計ツールと組み合わせることで、AUTOSARのシステム設計がどのようにソフトウェアに変換されていくかを体験可能となり、AUTOSAR開発手法を理解することができます

・システムのプロトタイプング

システム設計からソフトウェア実装と動作確認を短期で行えるため、繰り返し型の開発を効率的に実施できます